

静岡福祉大学の講義

基礎セミナーⅢ(焼津地域学)の講師を行いました

6月8日、静岡福祉大学の講義である「基礎セミナーⅢ(以下、焼津地域学)」において、「行政と私たちの生活について考えよう」と題し、焼津市議会についての講義を行いました。



講義を受けた学生からは、「政治に対してのイメージが薄かったが、どんなことをやっているのか知れてよかった」や「地域に寄り添い、地域の声を聞く仕事だと感じた」等の感想がありました。



焼津地域学は、同校の2年生約200名が様々な講師から焼津について学ぶ講義です。

石田江利子議員及び河合一也議員より、議会の役割や議会中に行われること、実際の一般質問の映像を視聴し、議会での活動が市民の生活に関わっていることなどを説明しました。また、市議会をより身近に感じてもらえるように、議員になった経緯や議員活動、その他の活動について紹介しました。



その他講義を受けた感想を紹介します！



今までの自分は政治への関心が足りていなかったことを実感しました。政治等について正しい知識を身に付けたいと思いました。

私たち若者が市や県へ目を向けていくことが大切だと思いました。

自分自身にもできることを探して、議員のように行動に移していけたらと考える機会になりました。